

1 ブシ

2 生薬の性状 2)の項を次のように改める。

3 生薬の性状

4 2) ブシ2 本品はほぼ倒円錐形で、長さ15 ～ 30 mm、径
5 12 ～ 16 mm、又は縦とときに横に切断され、長さ20 ～ 60
6 mm、幅15 ～ 40 mm、厚さ200 ～ 700 μm 、又は径12 mm
7 以下の不整な多角形に破碎されている。外面は淡褐色～暗褐
8 色又は黄褐色を呈する。擬上皮を除いたものでは、外面が黄
9 白色～黄褐色である。質は堅く、通例、しわはなく、切面は
10 平らで、淡褐色～暗褐色又は黄白色～淡黄褐色を呈し、通常
11 角質、半透明で光沢がある。

12 本品は弱い特異なにおいがある。

13 本品の横切片を鏡検(5.01)するとき、外側から擬上皮、
14 一次皮層、内皮、二次皮層、形成層、木部が認められる。擬
15 上皮を除いたものでは、擬上皮に加えて、一次皮層及び内皮
16 の一部を欠くものがある。一次皮層には楕円形～楕円状四角
17 形で、短径30 ～ 75 μm 、長径60 ～ 150 μm の厚壁細胞があ
18 る。内皮は接線方向に長い1細胞層の細胞からなっている。
19 形成層輪は星形又は不整の多角形～円形であり、木部の道管
20 群はV字形を呈する。

21 二次皮層及び髄中に独立した形成層輪が認められるものも
22 ある。柔細胞中のでんぷん粒は糊化している。縦切片の鏡検
23 (5.01)では、道管は孔紋、階紋、網紋又はらせん紋道管であ
24 る。

25

26